

令和6年度春の人事異動にともなう

支部会員の異動 (敬称略)

54期 赤津博久	中標津高校長 → 北見緑陵高校教頭(特例任用)
54期 飯田正義	函館市立赤川中学校 → 函館市立鱒川中学校
56期 小森剛	深川西高校 → 美唄尚栄高校
57期 細木みゆき	函館西高校 → 函館商業高校
58期 會田大祐	新冠町立新冠中学校長 → 函館市立戸倉中学校長
60期 草間千広	釧路市立青陵中学校教頭 → 釧路町立昆布森中学校教頭
60期 眞野清憲	釧路町立富原中学校 → 釧路市立景雲中学校

ご退職 ～ 長い間、お疲れ様でした ～

(退職)

56期 工藤昌彦 留辺蘂高校長

※工藤氏は、4月より「旭川藤星高等学校長」に就任されました。

58期 藤浪克仁 標津町立標津中学校

※間違いや記入漏れがありましたらお知らせください。また、転居先住所の連絡もお願いします。

令和6年支部新年会を開催しました

1月12日、札幌市の「ネストホテル札幌駅前」で令和6年支部新年会を開催しました。

コロナ禍以前まで集合形式で開催されてきた北海道高等学校教育研究会も久しぶりに再開されるということで、多くの会員諸氏が道都・札幌市に集結するであろうと考え、今回は新年会に加えて佐賀支部長の発案で初の企画となる講演会を開催しました。参加者は6名にとどまり少し会場が広く感じられましたが、札幌市や函館市、苫小牧市や千歳市のほか、オホーツク管内清里町まで広範囲の地域から同窓が集まりました。

講演会は18時よりスタート。道新カルチャーセンターや道高文連文芸専門部短歌部門で講師を務め、支部長の「短歌の師匠」でもある札幌市在住の歌人・山田航先生を講師にお招きし、「北海道の高校生の短歌を読んできて」と題して1時間ご講演いただきました。

講演会では、道高文連文芸専門部短歌部門に出品された高校生の短歌を通して韻文の特性についてご高説いただきました。また、二松學舎大学で短歌の講座を開設している講師との関わりなども織り交ぜながらご講演いただきました。参加者からの感想や講師との質疑応答が行われ講演会は終了しました。

終了後、執筆でお忙しいところ山田先生にもご出席いただき新年会をスタート。支部長の挨拶に続き、函館市から出席の荒井到氏の乾杯で開宴。美味しい料理に舌鼓を打ちながら参加者一人ひとりから「近況や今年の抱負」を語っていただきました。

また、今年も支部長から令和6年初場所の番付表と相撲カレンダーが、さらに、若松事務局長から高級ふきが「お年玉」として参加者に配られました。役員諸氏からの心のこもったお品、本当にありがとうございました。そして、宴たけなわの会は、永田監査のご発声でお開きとあいなりました。

今回参加できなかった皆様は、ぜひ次回も新たな企画を準備しておりますので、奮ってご参加いただければと願う次第です。また、道内出身の在学学生はもちろん、帰省や出張、旅行などとタイミングが合いましたら、ぜひご参加いただければ幸いです。その際は事務局までご一報ください。支部一同、熱烈歓迎いたします。

本年も北海道支部の活動にご理解ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

【参加者】

(講師) 山田航先生

(会員) 奥村悠二郎顧問(36期・札幌市) 佐賀敦司支部長(49期・札幌市) 荒井到道南分会員(51期・函館市) 若松頭仁事務局長(56期・清里町) 永田哲之監査(65期・苫小牧市) 佐々木伸事務局員(74期・千歳市)



令和6年度支部総会のご案内

会員の皆さま、暑中お見舞い申し上げます。いかがお過ごしでしょうか。

さて、今年度の支部総会を次のとおり開催いたします。今回は、佐賀支部長と同期で、昨年7月に松苓会本部幹事長に就任されました高柳幸雄氏(文学部49期・書道部OB)にご来道いただき、ご講話いただく予定です。多くの皆様のご参加をお待ちしています！

とき 令和6年8月17日(土) 18:00～

ところ 札幌ガーデンパレス

(札幌市中央区北1条西6丁目3-1)

Tel 011-261-5311

講話

『二松學舎大学が創立150周年を迎えるにあたって』

会費 6,500円

(サマーパーティープラン。飲み放題です!!)

出欠

同封のハガキにご記入(出欠の有無やお名前・住所をご記入ください)の上、8月10日(土)までにお知らせください。



大学トピック

今年度も道内から入学しました！

「二松學舎大学新聞」93号によりますと、今年度も道内の高等学校から両学部に入学者が8名が入学しました。入学者の出身高校は次のとおりです。

【文学部】市立函館高校・札幌光星高校・クラーク記念国際高校

【国際政治経済学部】クラーク記念国際高校・星槎道都高校

大学HPに「松苓会各支部紹介記事」が掲載されております！

大学ホームページをご覧になる方は多いかも知れませんが、「松苓会」のホームページも開設されていることをご存じでしょうか？

松苓会ホームページでは、全国各支部の紹介やゼミやサークルのOB・OG紹介、さらに「松苓会報」や「ホームカミングデー（卒業生と在学生の交流会）」等の記事が掲載されております。

ご覧いただければと思い、それぞれのアドレスを掲載いたしました。パソコンやスマートフォンでご覧になることができます。ぜひアクセスしていただければ幸いです。

【松苓会ホームページアドレス】

<https://www.nishogakusha-u.ac.jp/shoreikai/index.html>

【大学ホームページアドレス】

<https://www.nishogakusha-u.ac.jp/>

会費納入について特段のご協力をお願いします！！

当支部は、会員の会費と本部からの運営助成をいただいた上で、支部運営をしております。ここ数年は会費収入が微増しております。これは、皆さまのご理解とご協力のおかげです。本当にありがとうございます。これまで、コロナ感染拡大防止による支部事業の中止等がありましたが、情勢を鑑みて支部運営に努めて参ります。特に、今年度はコロナ禍によって中断を余儀なくされてきた分会総会の開催について、各分会役員さんと検討したいと考えております。

引き続き、支部の状況・趣旨をご理解いただき、会費納入に特段のご協力をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

【会費などの振り込みについて】※年会費は3,000円、終身会費は15,000円です。

会費等の納入ありがとうございます【令和5年12月～令和6年8月】

ありがとうございます



○終身会費（15,000円）鈴木 隆(50期)

○一般年会費（3,000円）

奥村 悠二郎(36期)、吉野 泰正(55期)、永田 哲之(65期)

○通信費カンパ 奥村 悠二郎(36期)、吉野 泰正(55期)

～新たな広報手段の導入に向けて～

昨年、12月に発行しました支部会報68号に佐賀支部長就任の挨拶を掲載しました。在任中に取り組みたい課題の一つとして「希望者には郵送を残しつつも、郵送以外のEメール等による通信・広報手段の導入をしたい。」との表明がありました。

この課題の解決に加え、「ペーパー・レス」の推進や今後の郵券代値上げを鑑みて、事務局としてEメールでの会報や資料等の送付を検討しております。

つきましては、この取組に対してご賛同いただき、メールアドレスの通知をご承諾いただけたらぜひお知らせください。よろしくお願い申し上げます。

なお、ご提供いただいた個人情報につきましては、当支部事務局で適正に管理するとともに、当支部の活動以外には使用いたしません。

趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。



～松苓会北海道支部グループLINEの開設について～

携帯電話やスマートフォンといった電子端末機器が急速に普及した現在、個人の情報伝達や会社・学校での会議などもオンライン化してきております。また、前記のとおり郵券代をはじめ通信費用が増大することを鑑みて、会員同士の連絡網「松苓会北海道支部グループLINE」を開設いたしました。

お手持ちのスマートフォンで右下に掲載した「QRコード」を読み取っていただくと、簡単にグループ登録ができます。連絡のやりとりができるのは、ご登録いただいた方のみです。なお、このグループLINE上では、総会のご案内や会報の送信などは扱いません。支部会員皆さまの情報交換の場といたします。

趣旨をご理解いただき、ご賛同いただける会員はぜひご登録いただきご活用いただけると幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

訃報

ここに謹んで哀悼の意を表し、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

名誉教授 青山 忠一 氏 令和5年7月30日逝去 享年94

文学部教授。専門は近世文学研究。平成4年4月から7年3月まで文学部長を務められました。また、法人役員も務められ、21年には瑞宝中綬章を受章されました。